（日曜日休刊）　（定價二錢）　（版權書籍可）

時事新報

第千六百九十號
明治二十年九月十六日　金曜日
舊丁亥七月廿九日（甲、申）
（西暦一千八百八十七年）

時事新報

歐洲列國の大勢（前號の續き）

英國の政略

英國の海軍は當時佛國を外にして歐洲中之ゑ及ぶ者一箇もある可らず軍艦の多き大砲の備はる世界第一ありと云ふと雖とも地球上到る所に殖民地を所領して英國の人民これ富財産を托するの今日一旦戰爭破裂しさらば東西の防衛果して英國民の利益を損せざるを得るや否や疑はしき次第と云ふ何し英國は海軍大なるに相違なけれ共其大い唯他の列國に比較したる話しにして英國の海軍英國は富ふ割合せては寧ろ小ありとも申しべき其仔細は到底今の海軍を以て本國を守り殖民地を防ぎ敵此一齊手落なく敵の侵擊に抗するゐと能はざるに外ならざるあり左ばば加奈陀なり濠洲の諸嶋なり此等の殖民地は大抵自國の力を以て防禦の策を講ずる者ありとするも印度の一國はうの富の莫大なるに拘はらず守備甚だ薄弱なれば勢ひ本國の艦隊と分て其急を救はざる可らず然るに英國本嶋の海防尚現在の海軍と以て充分の見込みなりやと云ふに獨り安心す可らざるのみ之更ふ外國軍略家の所說に隨へば英國との戰爭には我より進んで之を攻撃すんばある可らざるの窮所ありと云ふは他のあらず英國現在の海軍は十分敵の攻撃を喰止むべき見込なき者ふて敵兵が愛蘭薩格蘭に上陸し若くは又英國の北部を攻落すの容易なるは言ふに及ばず突然南部に兵を擧ゲて直に倫敦を衝くの軍略を為さゝ非ざるあり或は斯る場合にい英國はポ、ロイドン（倫敦を去る十一英里南）ふ其兵力を聚むるとあらんと雖も日耳曼洋ふ面したるハルウサッチ（テームス河口より遠か以北にてエセックス郡に屬せ）の側よりも又々攻撃の恐あり其際英吉利海峽の諸嶋敵の爲めに若先らるゝも必然ふして且つ我輩の開く所に據ればプリモウスは軍港は其固先充分なゞざるが故にレーン、ヘッド及トレガントル堡は間の海面幷にサルタッシ、セントセルマンス兩所の中間より之を砲撃するは無造作ありと云ふ又ポルトモウスの軍港もフエーヤハム岸の守備薄弱にして更にヒルシイ、ポルッドン兩所の砲臺の如きは今も尚ほ昔のものを其の儘にて時用に適せざるは恐るべきあれば外國の軍艦突然之に乘入て非常なる砲撃を試むるは手段行はれ難きに非ず又此策を施すには多數の兵を要するにも及ばず疾雷迅速英人は意外ふ出でゝ倫に倫敦を衝くのふあれば愈へば佛蘭西などにて密々支度を整へ聊かも人目を驚かさずふて不意に英國と打つの處り實に少ならざるあり此等は事情より考ふれば英國今日の兵力い濶り殖民地の利益と防護するに足らざるのふならず何よりも肝腎なる英國本嶋の位地既に黑々として時に崩れんとする千仞の絶壁下に立つ者なり之を風へば憤然として寒心するを覺ざるべし

殖民の富饒は英國の恃みとする所なり難國南征して印度を侵掠せんとするの形迹あらば英國は爲めに如何なる危險を冒すとも印度は陸續を意る可らず萬一印度と

棄つるが如きは是を取りも直さず英國人民は幸福と放棄するの惡業にして爲すに忍びざる所なれ共去迚今の印度の兵師を以て能く露軍の攻撃に敵し得べきや疑はざるを得ざるなり露國が印度地方に差向けらる兵力の實際と知るものは皆其精銳犯す可ゞざるを明盲せり交通の未ざ不便ある今日に在ては露軍大擧して印度と衝くの策當分行はざる者にもせよ現在ヘラットを超えて來る所の陸兵い精撰の勇士ならざるなく英國遂巡して早く之に備へざれば露國倍々其國境を南に弘先て遂に如何とも爲し難きに至るは數の明ある者ふり而して一旦英露の和親破れたらば英國が露國を攻むるは手段如何すべきや即ち露國太平洋の海岸例へば蒲鹽斯德の如況軍港を攻撃して露領内に戰爭を持込むより外に餘策なかるべく之と爲すには支那の同盟攻も大切にして英支は聯合濠州地方の地位を固め以て露國を苦ましむるは容易ありと雖も英國現在の陸海軍にて未ざ此策と行ふの力なきは我輩の遺憾此上なしとする所なり兎も角も英國本嶋と防禦を又印度をも守り更ふ恃むべき遠征隊を設けて一朝不意の變故に應ずる此三ッの覺悟なるゝと大切あらずや英國政府が一旦占領したる巨文嶋を放棄てたるとは爰に盲はざるも香港の如況商賈上軍略上暫くも其防禦と意る可らざるの要害なるに近時佛國陸軍の參謀部ゞ編輯したる文書を視るに論者は香港の兵備を評して加奈陀鐵道開通に曉香港は東洋無二の軍港なるべきに拘はらず守兵少く防禦不足、英人も自ら其必要を知らざるに非ざれ共其南方の守備に至りては全く怠慢にして之を顧ミざる者なりと論次たり我輩をして言はしむるとは英國が巨文嶋を放棄ゑたる心は即ち香港の守を忽にするの心にして東洋に自國の利益を保護せんとするに熱心の少き事、實に怪むに堪へざるなり兵備費用の增加を忌厭もる論者は砲臺を築て防禦を嚴にするは空しく金錢と浪費する者なりとして痛く之ふ反對なれ共軍事經濟の理ふ於ては砲臺の建築は戰時に守兵の數を省き平時には又之を守るの費用と減ずるの利益ある者なり日耳曼の如き百事節儉を旨として一錢も無益に消費せざる國と雖も砲臺建築の費用は寧ろ之を吝ませざるあり世人は謂らく英國はど富有の國あらざれば事に臨んで俄に砲臺を築ゑ軍艦を作るとするも防禦の策、未だ遲からず尚も金力あり、兵力は即盡にして之を買ふと容易なりとて悟然危きを悟らざるが如きは勝敗攝引の迅速ある今日の時勢に照し甚だ不穩の論なりと云ふ可きのを

尚や英國の政略を論ずるふ當りて忘る可らざるは例の愛蘭事件にして此國の一部ふ不和紛擾の存せるゞ爲め全嶋の人民悉も不平の下に呻吟せるの恩ひと爲し、迚に海を隔て英人と來人との關係さでも面白かるざるの形狀なるは外交上の妨害少きに非ざるあり其擧和手段の如きは我輩の問ふを欲せざる所にして早く自治を許すならばと云ふ、兎に角ふ内の紛擾さりを付けざれば政府は常に之が爲えに掣肘せられて到底に費する の主義政策も因循姑息を免る可らず、其歐洲に平和を

維持すべき點に於ても意の如くならざるのみ米國との折合ひも滑らかならざるは全く之が爲ゑにして若し愛蘭の高麗微かりせば加奈陀濠嶋事件の紛擾の如きも疾くに其形迹を歛めて同胞の國民修和親睦厭渝に對しても大に面目を施すの機會ありしに、事愛ふ出でざるい豈に遺憾の次第に非ずや英國外交政略の爲ゑにい愛蘭紛擾の速に決着せんと偏に希望ふ堪へざるなり（畢）

官報

○大藏省令第十三號

本年（五月）省令第八號所得稅法施行細則附則左ノ通改正ス

明治二十年九月十五日　大藏大臣伯爵松方正義

附則

本年ニ限リ第十一條ノ公告ハ十月末日迄ニ第十五條ノ達ハ十二月末日迄ニ之ヲ爲スヘシ

○辭令

日本銀行副總裁　富田鐵之助

本年九月中ニテ任期滿限ニ付更ニ重任被仰付

（以上本年九月十五日官報）

雜報

○支那公使　倫敦よりの報に據るに合衆國西班牙白露三箇國兼帶の新任支那公使チャン氏い西國の都府マドリッドより米國ワシントン府へ赴くの途次去る八月一日英國チャーリング　クロス停車場に到着したるに倫敦駐在の支那公使の屬官と共に右停車場に出迎ひたりと云ふ又チャン氏は數日間倫敦ふ滯在の後にあらざれば米國に向ふて出立せざるべしといへり

○又　右新任公使は西班牙駐在中同國の此處彼處に流涙し居ふる支那の貴民と呼び集ゑて本國ふ送り返へしたるを西班牙政府は仁心深きことに思ひ曾て四人と爲りふる支那人數名を放免してければ氏は之れとも本國に歸ふしめたりと云ふ

○無類のテーブル　伊太利國フロレンス府のピッチ宮殿に備へある一箇のテーブルは構造の材料と云ひ其形と云ひ世界に比類あき珍奇のものにて一寸之を瞥見すると恰も磨光上ふたる大理石の切嵌細工あるべしと想像するなゝふれとも其實化石したる人體の筋骨臟腑等を以て製作したる者ふて其形は圓く直徑三尺餘もあり四本の脚は筋骨を以て作り其下に爪、心臟、肺臟、肝臟等を以て裝飾したる一箇の臺板ありて其表面は巧ミに筋肉を疊みて構成し其周圍には一百以上の眼球を嵌め以て其緣となしたり尤も此眼球は光澤ありて恰も活人の眼球の如く近寄る人を睨むに似たり思ふに此テーブルを造るには一百以上の化石人體を要したるあらんが今より五十年前ふ死ゑたる名工サガチ氏が諸病院より人間の死體を請ひ受け藥を以て之と化石せしめ數年れ工風を凝らして漸く作り上ふたる者ありと感る外國新聞ふ見ゆ

○古物發見　過般中央亞細亞タスケンド地方に於て希臘古代の壺、鏡等しふる裝飾物及び石像等を發見ゑたるよりして是等の古物より推考すれば希臘古代の勢力は世人の信ずるよりも遠ふ東方に及びたるものあるべしと云へり

○米國の狂人　米國ルヰジアナ州にては近年狂人次第に增加せるの有樣ありしの事は過日の本紙上に記載したるが今又減る米國の新聞を見るに此二十三年以來合衆國に於て狂人の增加い甚ゞ盛にして孰れも直接又は間接に社會の幸福を妨ぐるものあれば稱神論者の中には爆を議論の絶間なく身心不光全の貴民及び救助慈正同盟會の幸福を妨げ又其を傳播する等に害を會ふ議論するに至りたる人の數は外國の移住民サスコンシンの如況は他に比して移住民グランド及びニューヨウ　イングランドして狂人一、ニューヨーアニアに於ては人口四も極南諸州ふ於くい人一の割合なり又西北部沿海の諸州より諸州ふては平均人口諸州にては人口七百で極西諸州及び未ざ數は大に減ゑて人口千數は大に減ゑて人口千其次第は該地方ふ住拓者あるに因るゑる米國中最も狂人多ふ州人一、次にニウ　ハの割合ふるが這は該備するを以て加奈陀入もるに因るならん百八十九に付狂人一の常ふるは抑も何故ふ貧民の續々移住するに千八百八十一黨を始め諸外國の貴人の多きふ及び其後にて是等は皆多少惡國に輸入し米國に損十餘名の人々が既に貧戚者を募集せしに可からざる學科を右の藥學舍あるものを敢年眼い三箇年と定め別して入校出願者は

○兵器工業學舍　小石未滿の者は無慮一千有餘人ありて是輩の共其兄兄多くは生計學費と給して小學に入餘力ふく日々に多少のひるの有樣にて復た少る少年が空しく學齡生を終るは如何にも の調所恒義氏外十八名生徒の教育ふ於ては

○無線の電用　ピ洋服の着方巧ふ今い上等品の盛人日以ヤードの價三弗以上の